

ここう庵
8月 10日 月曜日 午後10時04分

(宗淵)
親愛なる老師様

午後にした手紙をアンが投函した後、私は再びこの手紙を書いています。
タイさんと話し合う事に失敗し、私は無念の気持ちでいっぱいです。タイさんが午後8時帰宅すると、アンは階下へおりて行き彼と会い、二階へ来て私と話をしよう頼みました。彼は(私が彼に相談せずに日本へ行ったため)私を許す事が出来ないと言う事、又、自分自身の怒りを制御する自信も無いという理由で私との面会を拒絶しました。彼は私と面会出来ないのは彼自身の理由によると言いました。彼は荷作りをするので、二階の掛け物を取って来て欲しいとアンに頼みました。私はベッドを出て、自分で掛け物を取り、階下へ持って行くと彼は台所に座っており、私を見るとすぐに立ってドアを出て行きました。私は静かに彼を呼び、ドアを開けて再び彼を呼んだのですが、彼は私を避けて家の横を回って出て行きました。私は彼の掛け物を彼の机の上に置いておきました。

後にアンが申すには、私が日本へ行く前に彼に話すべきかを考慮した折、ドクター古川が忠告したように、タイさん自身、自分でもコントロール出来ない凶暴な性格を自覚していると思われま。そのため、強要はしない方が良く、彼女は思っているようでした。

このような結果に至った事を私は実に残念に思います。明日、もう少し書きます。今、私の熱はかなり高いのですが、直に回復すると思います。

火曜日の朝

今朝、私は遅く迄眠り、目覚めるとすぐアンに、私はまだ病気であるけれども会いに来てほしいと、タイさんに伝言を頼みました。アンがここう庵へ行くと、庵の副会長のミセス プレストンが居りました。タイさんはアンに残念だけれども会う事は出来ないと言いました。彼の所有物は既に荷作りが済んでおり、私達の推察では彼は彼の親しい友人(私の親しい友人でもあり、以前私の弟子でもあった)日蓮宗の、池永えいじょう和尚のもとへ移るであろうと思われま。

彼は、カイさんと共に数々の接心を行う為に、この月の末に本土へ移る予定のようです。これは、安谷老師の考えでもあるようです。私はこのような結果に至るとは予想していなかったのですが、是等の事は貴方に話しませんでした。多分やす子さんは、池永さんの寺へ行くとおもいます。

明日、私達のメンバーに、この事をどのように話したら良いのか、まだ分かりません。私達はただ平静に過ごします。もし彼が集会に来なければ、私は唯、彼は2~3日休暇であるとでもいまいしょう。後の進展はお知らせします。